

参加費用無料

事前申込不要

いよいよ法制化！

可視化立法の行方

周防正行監督と考える取調べの可視化

現在行われている法制審議会において、いよいよ取調べの可視化立法が現実のものになろうとしています。しかしながら、その内容がどのような法律となるかは、まだ不透明な部分を残しています。ここで、捜査機関の裁量の広い法制化ができあがれば、取調べの可視化は画餅に帰すことになり、シンポジウムを開催いたします。そこで、この時期に市民の皆様へ、改めて取調べの可視化の必要性を知っていただくべく、シンポジウムを開催いたします。

【プログラム】

第1部 基調報告「可視化立法の行方」

元日弁連会長/法制審議会

「新時代の刑事司法制度特別部会」委員

宮崎 誠 弁護士

◎周防監督へのインタビュー

第2部 事例報告

①北九州爪ケア事件

元被告人 上田 里美 氏

弁護士 東 敦子 弁護士

②ガールズバー殺人未遂事件

日高 伸哉 弁護士・三上 孝孜 弁護士

③東住吉事件特別報告

高坂 明奈 弁護士

第3部 徹底討論 法制審特別部会における可視化議論の行方

法制審議会「新時代の刑事司法制度特別部会」委員・映画監督 周防 正行 氏

法制審議会「新時代の刑事司法制度特別部会」幹事 小坂井 久 弁護士

コーディネーター 森 直也 弁護士

【場所】

大阪弁護士会館 2階ホール



・京阪中之島線「なにわ橋駅」下車 出口①から徒歩約5分
・地下鉄・京阪本線「淀屋橋駅」下車 1号出口から徒歩約10分
・地下鉄・京阪本線「北浜駅」下車 26号階段から徒歩約7分
・JR東西線「北新地駅」下車 徒歩約15分

平成25年

11/2(土)

13:00～16:00

【問合せ先】大阪弁護士会委員会部人権課
TEL. 06-6364-1227

周防監督 来たる!!

